

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第88号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年7月16日 21時15分ごろ	
発生場所	長崎県五島市富江港 ^{とみえ} 富江港沖防波堤B灯台から真方位180° 360m 付近 (概位 北緯32° 37.3′ 東経128° 46.3′)	
事故等調査の経過	平成22年9月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 東福丸 ^{とうふく} 、199トン	
船舶番号、船舶所有者等	132692、東洋海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	プロペラ、クラッチ等損傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、船首約2.7m、船尾約3.7mの喫水で、富江港内の岸壁に着岸作業中、平成22年7月16日21時15分ごろ、船底が浅所に接触した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風速 約5m/s 海象：潮汐 上げ潮の中央期、波高 約1.5m	
その他の事項	船長は、富江港への入港経験が年に5～6回あった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、富江港において着岸作業中、船長が浅所の存在を知らずに航行し、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、富江港において着岸作業中、船長が浅所の存在を知らずに航行したため、同浅所に乗り揚げたことにより発生したの と考えられる。	